

安全上のご注意

絵表示の例

 △記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。

 ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)を示しています。

 ●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合はACプラグをコンセントから抜く)を示しています。

 **警告** 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

 タコ足配線はしないでください。過熱・発火の原因となります。

 濡れた手でACプラグに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

 ACプラグの端子にほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災や感電の原因となります。

 ACプラグはACコンセントに確実に差し込んでください。ACプラグの端子に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

 持ち運ぶ時はACプラグを抜き、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがの原因となることがあります。万一、落としたり、ケースを破損した場合は、バッテリーパックを充電台から抜き、納入または保守業者にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となることがあります。

 布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースや部品が変形したり、火災の原因となります。風通しの良い状態でご使用ください。

 水などをかけたりして、ぬらさないようご注意ください。また、風呂場などの湿気の多い所での使用はしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

 充電端子を金属等でショートさせないでください。火災・故障の原因となります。

バッテリーパックがぬれたまま充電しないでください。火災・故障の原因となります。

 ケースを開けたり、改造しないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、納入または保守業者にご依頼ください。

 雷が鳴り出したら、安全のため早めにACプラグを抜いて、ご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。

 内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損した場合、または異常な音が出たり、煙が出たり、変な臭いがするなどの、異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



万一、異常な音が出たり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態になった場合は、すぐにACプラグをACコンセントから抜いてください。そして煙が出なくなるのを確認してから納入または保守業者にお問い合わせください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。



テレビ・ラジオ・コードレス電話機など、アンテナを使用した受信機に近い場所には設置しないでください。雑音が入ったり、通話が切れることがあります。



直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所には設置しないでください。また、布や布団で覆ったりしないでください。内部の温度が上がると、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。



コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて火災・感電・故障の原因となることがあります。



湿気が多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所、タバコの煙が多い場所には設置しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



同梱のACアダプター以外を使用して充電しないでください。同梱以外のものを使用すると火災や感電の原因となることがあります。



指定されたバッテリーパック以外の充電はしないでください。火災・故障の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所、振動・衝撃の多い場所には設置しないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



ACプラグをACコンセントから抜くときは、必ずACプラグを持って抜いてください。コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。



充電が終わった後や、お手入れの際、長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずACプラグを抜いてください。



本充電器について

- バッテリーパックを無線電話装置に取り付けた状態、または単体で充電することができます。
- バッテリーパックを取り付けた無線電話装置に、指定された保護ケースを取り付けた状態で充電することができます。
- LED表示により、充電状態を表示します。

同梱品

充電台.....	1
ACアダプター.....	1
取扱説明書(本書).....	1

充電できるバッテリーパック

本充電器は下記バッテリーパックの充電のみに使用してください。

リチウムイオンバッテリーパック

KNB-47L/KNB-L1/KNB-L3

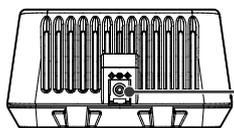
対応可能な保護ケースについて

保護ケースを取り付けた無線電話装置にバッテリーパックを取り付けた状態で充電する場合、下記の組合せのみの使用としてください。

無線電話装置 / 保護ケース / バッテリーパックとの組合せ

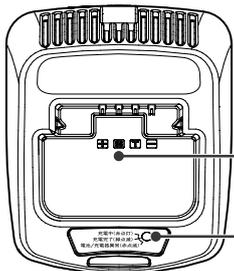
- TCP-255/ KLH-151/ KNB-47L
- TCP-D605DP/ KLH-205/ KNB-L1 または KNB-L3

各部の名称



ACアダプタージャック

付属のACアダプターケーブルをここに接続してください。



充電スロット

バッテリーパックやバッテリーパックを取り付けたトランシーバーをここに挿入してください。

LED

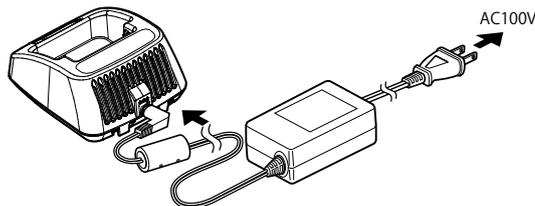
点灯 / 点滅して充電状態を知らせます。

使用上のご注意

- 無線電話装置に装着した状態でバッテリーパックを充電するときは、必ず無線電話装置の電源を切っておいてください。
バッテリーパックの充電中に無線電話装置を使用すると、充電の妨げになります。
- 無線電話装置やバッテリーパックが濡れたままで充電すると、故障の原因になります。無線電話装置やバッテリーパックが濡れているときは、乾いた布でよく拭き取ってから充電台に差し込んでください。
- 充電中の最適環境温度は、5℃～40℃です。
- 正しく充電しているにもかかわらず動作時間が短くなってしまった場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックと交換してください。
- バッテリーパックの放電 / 充電サイクル寿命はおよそ300回です。ただし、過充電により、バッテリーパックの寿命が短縮する場合があります。
- 充電端子はゴミなどが付着しないように綿棒や乾いたやわらかい布で時々拭いてください。

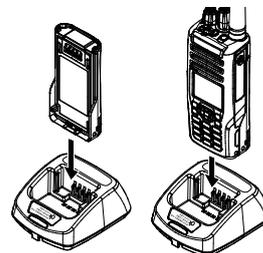
充電のしかた

- 1 ACアダプターケーブルを充電器の背面にあるACアダプタージャックに接続します。
- 2 ACアダプターにACケーブルを接続して、ACプラグをACコンセントに接続します。



- 3 無線電話装置にバッテリーパックを取り付けた状態、さらに保護ケースを組み合わせた状態、またはバッテリーパック単体を充電台に挿入してください。保護ケースを取り付けた状態での充電に関しましては、『対応可能な保護ケースについて』に従ってください。

- バッテリーパックの金属端子が充電台の端子にしっかりと接触していることを確認してください。
- LEDが赤点灯して充電が開始されます。



- 4 充電が完了すると、LEDが緑点滅します。無線電話装置またはバッテリーパック単体を充電台から抜いてください。

充電状態

LEDの色	状態
赤点灯	充電中であることを表します。
赤点滅	充電端子の接触不良が発生している可能性があります。充電端子を清掃し、再度無線電話装置を入れ直してください。それでもLEDの状態が変わらなければ、バッテリーパック、または充電台に何らかの不具合が発生しています。直ちに充電を中止し、納入または保守業者にご相談ください。
緑点滅	充電が完了したことを表します。

仕様 (外形寸法、質量はACアダプター含まず)

AC電圧.....	100 - 240 V
外形寸法(幅×高×奥行).....	110 × 59.6 × 132 mm
質量.....	約 175 g

製品の不具合、保守について

製品の不具合、保守については、納入または保守業者にご相談ください。

保証期間

保証期間は、納品日より**1年間**です。

正常な使用状態において、製造上の不備に起因する故障が生じた場合は、納品日から1年間は無償保証いたします。

この場合は納入または保守業者にお問合せ下さい。